

高齢者の相棒

「会話人形」

八王子市の小さなおもちゃ会社が高齢者向けに開発した「会話する人形」が、静かなブームを呼んでいる。旅の話題を持ちかけ、簡単なクイズを出題。昔懐かしい歌謡曲も歌ってくれる。子どもや動物などを模した4種類の商品があり、数千台から1万台が売れているという。

八王子の会社 1万台販売



「あなたのパートナー」シリーズの人形を紹介する五十嵐社長（八王子市で）

旅話やクイズ、歌謡曲も

■孫との話題
商品を手がけるのは、同市新町の「デジレクト」。「あなたのパートナー」のシリーズとして、会話ができる人形を作った。社長の五十嵐貞治さん（40）は「高齢夫婦の会話の糸口や孫との話題になれば」と話す。

9月に発売した「おりこうのんちゃん」は、少女をイメージした商品だ。「計算握手」など8種類の問題を出題する。1日3回、決まった時間を「出題タイム」として設定すれば、「2足す5の数だけ私の左手を握ってね」などと話しかけてくる。

童謡など30曲を歌い、1600通りの会話もこなす。時計や暦を内蔵しており、季節や時間帯を反映した会話もできるという。

■癒やしの音

五十嵐さんは山形県酒田市の出身。大手玩具メーカーと共に約10年前、簡単な会話をする人形を開発した。若い女性を対象にしたという。た

つた。

ちょうどこの頃、実家に帰省した。両親の会話が少なく、テレビの音ばかりが家中で聞こえていた。ショックを受けた。

「暮らしの中に癒やしの要素となる音も加えたい」。ターゲットをシニアに絞り直し、自社商品の開発に乗り出した。

その第1弾は、2015年に製造したクマのぬいぐるみ「くまの子くーちゃん」。手を握ると昭和の名曲などを歌い、簡単な受け答えもできる。16年に売り出した「けんこうパートナー スマイルメディくん」は、薬箱に似せた外見が特徴だ。決められた時間に薬の服用を促し、健康に役立つ情報を語る機能を付けた。

17年には、バスガイド姿の人形「旅大好き！はるちゃん」を発売した。各地の旅の話題、民謡や民話を紹介し、関連したクイズも出題する。

現在は、しつぽと鳴き声で

気分を伝える「あまえんぼうねこちゃん」を開発中だ。

2020年の「猫の日」（2月22日）に発売したいという。「これからも新しい発想で、八王子から商品を生み出したい」。意欲をみなぎらせている。

いずれの商品も、インターネットやITとは無縁。乾電池を入れれば作動するため、パソコンや機械の操作が苦手

な高齢者でも使いやすい。価格も1万円前後に抑えた。「アラログと脱インターネットを重視し、シンプルで安価な製品にこだわった」という。

手頃な値段で高齢者のニーズにも合致している）。八

王子市の中小企業新商品開発認定制度では、発売されたばかりの「のんちゃん」を除く3商品が「優れた商品」に認定されている。

励みになっているのは、利用者の喜ぶ声だ。「はるちゃん」を購入した高齢女性からは、「実際に旅をした気分を味わえています」とつづった手紙を受け取った。「感謝の言葉をいただけたことが、最高にうれしかった」と笑顔を見せる。

問い合わせはデジレクト（042・686・0667）。